

●自由記載欄の意見を重点施策ごとに分類しました。

重点施策1 障害者が安全・安心に暮らせるまちづくりの推進  
・バリアフリーについて

1	交通に関しては、観光地なので、土日・祝日はマヒしがちなのはある程度仕方ないのかと思いますが、交通機関の駅（江ノ電や湘南モノレール等）段差が多くあったり、エレベーターが無かったり、危険箇所がたくさんあります。（これも民営のものでしたら、関知できない部分でしょうか）
2	まちづくりにおけるバリアフリーの推進を重視する必要があると思う。
3	道路のへこみ。歩道など安全な道を作ってもらいたい。モノレールのエレベーターがないのが困っています。
4	歩道環境を整備して欲しい。
5	道路が狭く車で行きづらい。
6	公共の場所はすべてバリアフリーにして欲しいと思います。これは障害も持っている人だけでなく、老人にも必要です。ちょっとした段差でも車椅子を自力で運転して進むことができません。身体的な障害も知的な障害も誰もがなりえるものです。
7	歩道の整備など。障がい者にやさしくない。
8	充実したバリアフリーではない。
9	道幅が狭いなど、あまりバリアフリーになっているとはいえない。
10	道路が悪い。車椅子、又、ヘルパー支援での外出の折に、道のデコボコ、道幅の狭さに、安心して歩くことが出来ない。
11	優先道路（歩行、車イス）が無い。障がい者用は離れた所に案内物が多い。
12	歩道と車道の区別（ガードレール等による）ができていない場所が多く、子供や老人でさえも危ない！
13	重点施策1では、障害者の安全が守られている街とは断して思えない。市内の道路状況は隣接する横浜市、藤沢市に比較すると、実にみすばらしく狭く、危険がいっぱいである。大船の街中を例にとると、道路脇の敷石は壊れている所が少なくない。車道と歩道を隔てている段差・ブロックは、車椅子、弱視者には危険。以前、車椅子乗車の人が、車道を横断後、歩道に乗り入れようとして、2cm程度の段差を登れず後方へ転倒。後頭部を強打して救急車を要請した事がある。歩道上の敷石も白杖で歩行するには穴あきが多く安全ではない。大船の市街地改修の話は、いつの日に実現するのか？今では、ウヤムヤになり立ち消えたかの様に感じている。蛇足ではあるが、道路脇の側溝から匂う悪臭は、耐え難いものがある。鎌倉市に転居して10数年経過したが、道路改修の現場を一度として見た事がなく、他市との比較で、どこに税金が使われているのだろうか？と、漠然と思う。
14	障害者が安全・安心に…という点で、特に駅等の充実が望ましい。
15	身体障害者が、安心して外出できる環境になっているとは言えないこと。知的障害者や精神障害者が、安心して暮らせるかどうか、まだ充実しているとは言えない。
16	障がい者と介助者が手をつないで安全に歩ける歩道が欲しい。狭くてでこぼこした歩道が多い。
17	バリアフリーでない道が多い。歩道の段差。坂道、車椅子では無理な（通れない）場所が多い。
18	鎌倉市内の道路、観光地は車椅子で出かけにくい。
19	車が多く、歩道も近い。バリアフリーな場所を探す方が難しいと感じる。
20	車いすで歩行しやすいよう道路をもっと整備してほしい。
21	道路（歩道）やエレベーターなどのバリアフリー化をもっと進めてほしい。
22	多目的トイレにおむつを替えるベッドを設置して欲しい。
23	駅（モノレール）や施設等でバリアフリーがまだまだ確保されていないのを感じることもある。
24	公の施設等において、トイレが和室だったりすることがあるため。
25	大船駅に近づけば、歩道もずいぶん歩きやすくなってきましたが、玉縄台周辺では、まだまだ危険なところがあると思ったので。
26	みちがでこぼこしている。
27	以前、鎌倉養護学校の見学に行く途中、バス停から学校までの道路に歩道が確保されておらず、危険だと感じました。我が子を通わせるのは無理だと感じました。
28	「バリアフリー」について。全く進んでいない！大船駅東口の点字ブロックは何のため？ポールが何の考えもなく立てられていて必ずぶつかります。どけてください！駅の中の広い通路は前は安心して通れたのに、点字ブロックギリギリに電灯が立てられてしまい必ずぶつかります。やめてください！災害時以前の問題から、市はちゃんとやって下さい！駅に言ってやって！
29	まちづくりについて。健常者であっても、安全に歩行できる道が少ない。自転車の走行も（自転車を運転する側としても）危険を感じる。高齢ドライバーも多く、“道”が危険。安全に移動、自力でというのが一番ですが、難しい場合には、二番、三番…と選択し得る手段があればよいと思う。障害者でも外に出て社会貢献の場を持つためにも。
30	観光客が多すぎるわりに駅前の歩道が狭い。
31	バリアフリーをもっと充実させて欲しい。

## ・災害時の対応について

1	災害時、避難所に避難できない、又しない選択をする場合があると思いますが、避難所に限らず配慮してほしい。
2	町内会でもようやく災害時の障害者に対する対応の仕方などお知らせが来たところなので今後に期待する。
3	災害時対応など全く情報無し。地域より説明を受けたこともない。
4	災害時等の緊急時、障害によって特性に違いがあるので、その点の配慮をした施策を進めてほしい。鎌倉は観光地でもあるので、住民の安全、安心を視野にいれた施策が必要だと思う。
5	災害時等、自治会、市、関係機関との連携は、少し進んだように思う。
6	障害者の取次ル「トイレ」に「災害時も想定して」、数箇所の「多機能トイレ」の設置と「防災用簡易トイレのストッカー」の設置、そばに「休憩ベンチ」の設置を。やさしい世界遺産の町を目指して
7	震災時に受け入れる施設の登録ができていますが、実際可能なかどうか？また熊本地震の時は登録施設が機能できなかったが、それを参考に鎌倉市は改善策を講じているのか？
8	災害時や緊急時において、混乱している中でどのような配慮が可能なだろう…と思う。身体、重身の方々の薬の問題や胃ろうや他経管栄養の人たちがどのような生活を送っているのか。精神系の方々に関してはもっと難しいと思う。関係機関との連携を強めるだけでは無理だと思う。
9	重点1において、オストメイトが必要なサービスを受けられるのか具体例としておたずねしたい。装具保管をお願いしているか。全市民を対象になったのでしょうか。当初はオストミー協会会員のみと言う事で開始されました。その後はどのようなになったのでしょうか。一步一步前進していただけるものと期待しております。

## ・その他

1	一人外出の好きな障害児が安心してすごせる町になってほしい。
2	どんな障害があっても、あたり前に町の中で生活させたい。
3	安心して暮らせる町づくりをしっかりとやってほしい。
4	単独移動。情報不足。点字、音声による。
5	努力していると思いますが、さらなる充実を望みます。
6	「まちづくり」の基本は、公共物（乗り物含）、鎌倉の場合は、バス、JR、江ノ電などの職員、利用者の障害の認知、周知（警察、病院、マーケット、コンビニも同じ）、学校、教師はもちろんのこと、ライフステージで切らず、申し送りが必要である。
7	障害福祉と一まとめに言うことは簡単だが、各障害、また障害者個人個人にも違いもある。その違いがあることを市民に理解していただくことも、大事なことに思える。障害を持つ人が、家族の中にも、家族にも安心してもらえる環境作りをしなければ、重点施策1の障害者が安全・安心に暮らせるまちづくりが充実しているとは言えない。家族や障害者が、本音を言える環境作りや支援体制作りが必要だと言える。個別の聞き取りをしっかりとっていくことで、安心・安全なまちづくりもできると考える。
8	町の中で障害者が安心して暮らせる体制作りは毎日毎日の過ごし方にあると思います。

## 重点施策2 ライフステージに応じた相談支援体制の推進

### ・相談支援体制について

1	乳児への療育相談窓口、療育の充実を図ってほしい。
2	相談支援体制が充実していない。
3	児童発達支援や放デイの事業所は増えているが、内容的には様々なところがある。市全体で質の向上を考えられると良い。
4	もっと情報の周知徹底が必要ではないのか。
5	相談支援も始まったばかりで、具体的に何を支援してくれてるのかわからない。市に管理されている印象を受ける。
6	相談する場と医療が充実してない。
7	時に、精神障害者と関わっているが、ライフステージに応じた相談支援体制も、まだ不十分であるサービスがあるのはすばらしい事だが、本当に相談したい人に対してわかりやすく、窓口がどこなのか明確になっていることが必要だと思う。
8	ライフステージ=切れ目のない支援
9	発達支援相談から入所までの期間をできるだけ短くしてほしい。
10	重点施策2で相談支援体制。もう少し体制に時間をかけてほしい。
11	各施設の横の連携が弱いと思います。例えば、小学校入学時にそれまでいた療育施設から学校及び放課後等デイサービスへ移行する際、その子供の情報のやりとり、移行する際のフォローがしっかりしていないと、新しい環境へ踏み出す子供へのストレスが大きくなってしまいます。役所はタテのつながりが強いと一般的にいいですが、それに比べると同じ「障害福祉」というものを扱っている割には、横での相互的なつながりが極めて薄いと感じる人が多いと思います。親側（もしくは障害者側）に対する情報や制度に対するフォローがなく、受けられるべきサービスが受けそびれるという事態も発生したり、突然ああしる、こうしる、と情報もたらされたり。もう少しタイミングを早めに、対象者への「こういったサービスをいつ頃から始める予定ですよ」とか「スケジュール的フォロー」を手厚くすべきでは。既に成人に達している障害者はもちろんですが、未就学児や就学児の親に対して、より当事者の視線や立場に立ったやりとりができるようになることを望みます。
12	
13	息子はまだ5才ですので、将来的なことはまだよくわかりません。現状では、とても満足しています。手続きなどの煩雑さはありますが、必要な手立ては教えていただいていますし、関わってくださる方々の温かい応援を感じています。小学校以降、大人になってからの支援については私がまだ勉強不足ですので、わかりません。今後しっかり情報を得ていこうと思います。
14	子どもに障害があるとわかって、どこに相談していいのかわからなかった。難しいと思うけど、「自分からどうにかしなきゃ！！」と行動にうつさないとわからないことが多かった。困って行動にうつせない人が心配です。
15	子供に聴覚障害がありますが、市内には相談できる所は全くありません。
16	児童相談所が遠いので不便。最寄の児相で手続きなど取れるようにしてほしい。
17	実際に相談場所でサポートしていただけて、自分一人では、困難だった事を手助けしていただけた知識を教えてもらい助かっていました。
18	相談支援体制は専任がいることにより相談しやすく個に合った支援が組めるようになってきていて良いと思う。
19	相談をしやすい体制や、施設や制度に関して知識や経験豊富な人材を整えていただきたいと思います。

### ・相談員について

1	障害者を主に担当する民生委員のようなワーカーがいるといいですね。
2	窓口相談は、とても対応が良い。
3	支援員の人数を、増やしてほしい。
4	相談支援員の人数が不足していると思われる。
5	障がい者へよりそっていきけるライフサポートできる人材の育成。
6	闘病の苦しみを理解してくれるカウンセラー又はヘルパーに助けてもらいたい。
7	しっかりと相談できる人を増やしてほしい。

### 重点施策3 地域で自立して生活するための支援体制の推進

#### ・グループホームについて

1	退院して家族にひきとってもらえなければ、自立して暮らすしかないのですから、退院して地域で安心して暮らせるように、グループホームなり、アパートなり、暮らせるところを、もっと用意してほしい。そうしないと、病院に何年も住んでいるかのような感覚でいるような人が、もっとふえていく。退院して、ひとり暮らしをする人にも、もっと手がさしのべられて、暮らしよく生きられ
2	入所施設をたくさん増やして欲しい。入所希望がたくさんあるのに県内施設に入れず、他県へというのは本人も家族も不安が強い。
3	男子用のグループホームをふやしてほしい。
4	グループホームやショートサービスをお願いします。
5	グループホームが少なすぎます。また、そのグループホームになじめないものもたくさんいます。そして、グループホームのお世話をしてくださる方も（がんばってやってくださっていると思いますが）障害者に対しての気持ちと福祉関係に携わった方でないとは長続きしないと思います。親としては、ある程度の規模の入所施設を望みます。鎌倉でかなえられないので遠くの他県に移住
6	住居の問題：一人暮らしの障がい者が親の援助なく、一人で暮らしていける住まいが安心して手に入ると障がいがあれば、暮らしやすくなると思います。
7	グループホームなど少し足りないではないか？
8	施設の増設をお願いします。
9	グループホームが少ない。退院した人の受け皿が少ない。
10	グループホームを推進されていますが、グループホームでは、難しい人もいます。入所施設も、充実させて下さい。
11	グループホームを、もっと作って欲しい。
12	一人暮らしができるしせつがほしい！！
13	身体障害のグループホームを増やして欲しい。
14	グループホームの増設、充実を願っています。
15	グループホームに入るのも大変です。民間任せではなく、市で小さな入居施設を作って欲しいで
16	現在、グループホームに入居させて頂いています。家にいるときより生活が向上、自立のための力が出てきます。親の元を離れて生活することの大切さを痛感しています。
17	グループホーム、施設を増やして欲しい。
18	グループホームをもっとたくさん作って欲しい。
19	両親が年者いたら、自分と一緒に住めるグループホームがあるといい。
20	グループホームには軽度の障害者の方がグループホームに入っているのが多く現在は見られます。重度の障害のある人たちも入所できるグループホームも支援整備をお願いします。
21	私の娘は今、31歳です。親も60後半になり、いつまでも家から通所施設に通うのは困難になります。親が高齢になった時に安心して暮らせる場所（施設）がありません。娘はてんかん発作があり、グループホームでの生活では無理があります。娘が入れる生活の場の設置（建設）をお願いし
22	市内に入所やグループホームなど出来たらと思っております。周囲の人たちの理解も得られないと建築は難しいとも聞いております。以前、養護学校から家に帰るまで歩きでした。その時に、認知の方を見ている人たちから声を掛けられ「本当に大変なの。私の大変さもよく分かるから頑張っ
23	ね」と声を掛けてくれました。でも老人ホームは多く建築されておりますが、認知の方も入所していると思いますが、反対はないのでしょうか。周囲の人たち又は皆、私共の子どもを見るのは違
24	しょうがい者こよの（少ない）きゅうりょうでもすみやすくて高すぎないグループホームなどがほしい。
25	包括介護施設に通所している利用者は自立できるグループホームに入れません。障害者の重度化、高齢化を伴う小規模入所施設が必要になってきました。
26	障害者が自立する為、お泊まり体験をする所が、鎌倉市は少なすぎ。
27	グループホーム、短期入所のベッド数を増やしてほしい。
28	もっと安価なグループホームを作してほしい。今のグループホームは高すぎる。
29	お泊りの施設を充実させてほしい。
30	そもそもグループホームも数が足りていない。しかも、軽い障害の人は入れてもらえても、重い障害の人はほとんど入れていない状態です。本来ならば家族の手がかかる重度の障害の人を先に入れ
31	グループホームだけではなく入所施設も足りていない。重度の障害者は、グループホームには無理があり、結局人手も足りないこともあり、入れてもらえない。
32	グループホームの方の話です。家賃補助が他の市に比べて低すぎるとのことで、家計がとても大変だそうです。障害のある方本人も大変ですが、家庭も、皆さんとても苦労なさっているようです。
33	地域で障害者が安心して暮らすために、自宅やグループホーム等の整備は、とても重要だと思う。グループホームという箱物だけ作るのでは十分でないと思っています。ホーム内でお世話をしてくださる方の資質が重要です。入所した方の特性（障害の現れ方や考え方、行動様式他色々）を知り、この難儀な事柄を受け止め、対応できる方でないとお世話は無理だと思います。市としてもグループホームで働く方への教育支援相談などをなさった方が良いと思います。グループホームで対応できず、やめる方がいます。（お世話する方々）いつも求人！そして福祉とは縁のない方が採用されます。

## ・短期入所について

1	数年前から、国は「施設から地域へ」とスローガンを掲げています。親元から通所するということは、利用者（障害者）にとっても理想です。しかしながら、いざ施設に短期入所（レスパイト）など希望しても、空きがありません。ベッド数が足りないのです。親子共高齢化になり、息抜きが必要で、是非、早急にベッド数を増やしてください。
2	日々、疲れがたまってきてせめて2、3日でもショートステイに預けてゆっくりしたいと痛切に思います。毎日出迎のために時計が必需品で、夢は迎えに遅れるなどよく見ます。重度障害だと受け皿がなく、あったとしても遠隔地しかないのが実情です。何とかしてくださいといつも思っており
3	身元後見人が高齢及び持病を持っていますので、障害者短期入所を月に2、3回利用させて頂いているのですが、なかなかいつも満席で入所が難しいとの事ですので近い将来がとても不安に感じて
4	短期入所の施設が不足していることもあって、現在では気軽に申し込みできないように感じます。
5	ショートステイできる事業所が少ない。学校卒業後の事業所が少ない。
6	短期入所が、気軽に出来るよう、お願いします。
7	短期入所のベッド等不足だと思います。

## ・その他のサービスについて

1	同級生の兄弟に障害を抱えた人たちがいます。彼女は手伝いをしてあげていますが、自分の時間がとれなくて、とてもストレスをためています。もっと市からの行動支援の時間があれば、ここまで苦労しなくてすむのに…と親と話しているそうです。友だちと一緒に遊ぶこともできず、かわいそ
2	障害者の親です。仲間が市内在住ですが彼は障害者の子が2人いて、自分は仕事があるし、年齢も重ね、面倒を見ることが大変といつも漏らしています。行動支援の時間があまりに少なすぎて、ひ
3	間くところによると、行動支援等の時間数が極端に少ない為、各家庭や関係者の負担が多く、とても大変だという話があります。他地域との差がひどすぎます。どうにか増やして頂きたい。
4	障害児を育てる家庭では通学に苦労している方が多いです。藤沢養護、平塚ろう学校など、せめて主要な駅（大船など）までの送迎があれば、助かるのではないのでしょうか。手当てをいただいているのは助かると思いますが、障害児はおおむね通院、リハビリも多く、金銭面の他、親の心理的な負担が大きいです。また、兄弟児の教育にも関わることなので、送迎についてご検討頂けたら幸い
5	行動障害のある重度知的障害者が、やまゆり園のような大型入所施設に入所するのではなく、地域で生活できるように、支援する体制を強化してください。
6	地域活動支援センターを一層充実して欲しい。
7	移動支援の時間が30時間なので少なくて困る。藤沢市は48時間出ている。
8	親元から離れて、他人と過ごす時間が、もっとあれば良いと思う。
9	高校卒業後の放課後デイサービスの制度を作っていただきたい。
10	施策3については、今現在、自分が日中活動をおこなう施設で働いており、その中で実際に相談支援等が充実していると思うからです。
11	事業所側から、短期入所や移動支援をすすめても、公正な意見として、捉えられないこともあり、時々、接触のある行政の担当者からも、アナウンスしてもらえると、早い準備（考えることも含めて）ができると思います。
12	18歳以上のデイサービスの充実をお願いしたいです。
13	移動支援を利用したい人はいっぱいいるのに、事業所の人不足のため利用できない。
14	移動支援を使える条件が厳しいので、もっと幅広く利用出来るようにしてほしい。
15	地域活動支援センター事業が今後も、より必要性が高まると思います。継続支援をお願いします。
16	施設が少なく利用や入所が困難。薬の調整ができていない。自分本意な支援を要求している。
17	入所出来る施設を増やして欲しい。
18	グループホームでの生活、「親亡きあと」の利用者が、一日の一番ほっとする安らぎは入浴です。4、5人ほどのグループホームの世話人は、ほぼ一人体制。入浴介助を必要とする利用者は、満足した入浴は無理です。また入浴介助が一番世話人の体を酷使します。世話人の体をいたわるためにも、入浴介助は行政の支援を「もっともっとガイドヘルパーの活用：派遣を」。同性の二人体制で、一箇所30分ほど、巡回サービスで各グループホームに週一回程度でも、これが一番望むサービ
19	就労への移行が障害者にとって必ずしも生活の充実に繋がるとは思っていません。本人が自分らしく生活できる場（地域活動支援センター）をもっと充実させ、継続させて下さい。

## ・その他

1	地域で障害者が安心して暮らすために、自宅やグループホーム等の整備は、とても重要だと思う。又、地域の中で、ひとりぐらしを目ざし、生活したいと願う障害者も多いと思う。精神障害者の場合、経済的にギリギリの人も多く、その希望をかなえたいと思っても、住居問題がとても壁になり、ハードルが高くなってしまいます。経済的に余裕のない障害者も住むことのできるアパート（家賃の問題）、公共住宅等住居問題に取り組んでいただきたい。
2	重度障害者が、地域で生きていくために、行政がしっかり支援していただきたい。「共に生きる、かながわ憲章」の具現化に向けて、実際に地域で生活する障害者へ予算をあてていただきたい。
3	金銭面での負担等が、もう少し軽減できる様にして欲しいですし、また、自宅で充分自立した生活を送れる様な支援もして欲しいです。
4	現状では、一人の支援員に何かあった場合（病気、怪我など）、他の支援員にかかる負担が、今の人数では、多くなりすぎてしまう気がする。

5	色々な施設や支援体制があって、利用しやすい。
6	ボランティアでなく、教育委員のように福祉委員の囑託のような役目です。高齢障害者人口から割り出せば数がわかると思います。
7	もう少し一人一人の生活レベルにあわせて日常生活がおくれるサポートがほしい！！
8	地活やグループホームは地域で自立して暮らしていくためには、絶対に必要だと思います。
9	障害者を支える専門職員の育成、増員が働く人のストレスをためない事にも、また障害者にも安心して過ごせる一歩です。日々の生活を過ごす生活介護施設、ケアホーム、入所施設、行動援護・移動支援のヘルパーなど、人手不足・力量不足で障害者が生きづらい地域である実態現場をよく見て
10	関係人材の増などより充実してほしい。
11	障害を持っている方が地域で暮らすには、ハード・ソフト面が不足しているように感じます。
12	地域生活ニグループホームですが、医療ケアが支援できる体制、高齢障害者の対応（日中の対応）、人材育成（収入にも、働く側。）、色々あります。市の支援を期待しています。
13	重点施策2も、不十分な体制のため、地域で自立して生活するための支援体制が、まだまだ不十分
14	地域で共に生きる体制にはなっていません。
15	重点施策3で地域で自立して生活するための支援体制。障害者の人にまだまだ偏見があるので、受け入れもらえない場合もあるので、もっと充実してほしい。
16	地域活動支援センターの支援が重要だと思います。
17	障がい者の対象範囲がすべてカバーしていないよう見受けられる。例えば、精神障がい者、知的障がい者については含まれていない？
18	70歳も過ぎて、病気を抱えている親が、障害の子供の面倒を見ている実態をおわかりになりますか？地域で自立し、生活なんて、きれいごとをいっていますが、重度の障害を持っている者にとっては、絵巻ごとにししか思えません。障害者は健常者に比べると個人差が大きいです。いくら色々なサービスを作ってもらってもその人に合っていなかったらほとんど利用出来ないのですよ。こういうことをしてもらいたいと言ったら、それが実現できるような本当にその障害者が必要なサービスを受けられるようにならないのでしょうか。
19	ご利用者様の様子を見ると、便利だからヘルパーを使っているような、自立の手段というより甘えで使っている、という態度が見うけられます。支援する側のスキル不足かもしれませんが、
20	ライフステージに応じて、誰がどのようにそのサービスをつかえるのかわからない。
21	障害児をもつ母ですが、あおぞら園と保育園の併用が可能になれば働けるのにと感じます。それができないため、就労を断念している母親がたくさんいます。
22	障害児・者への予算をもう少し充実させるとともに人的配置も充実させ、マンパワーを配分する必要があると感じている。
23	支援員（職員）が不足していると思います。（特にグループホーム）

#### 重点施策4 「親なきあと」の支援体制の整備

##### ・「親なきあと」の生活について

1	親がいなくなったあと、どうすればいいか不安です。
2	鎌倉市で障害のある人が生まれてから、親なきあと、本人が死ぬまで生きていけるのか、そういった施設なり、環境ができていくのか、わかるように暗記した冊子を配布してほしい。
3	親なきあとの余暇の事ですが、ヘルパーをお願いしても町を歩いたり、買い物もありますが、ブラブラするのもそんなに好きでない人もいます。ヘルパーがグループホームの部屋も使えず、イートインのテーブルで何かしてくださったりとか落ち着いて過ごせません。グループホーム・施設以外にも1、2時間通わせる公の場所を作って頂きたい。同じ部屋ばかりではあきます。ヘルパーの方
4	親亡き後、子がどのように生きていけるのが大変不安に思っています。

5	ぼくは、お父さんとお母さんが亡きあとにグループホームで暮らすよりも、血のつながりのあるいとこや家族と知り合いと兄弟と親せきといっしょに暮らせるようにしたいと思います。
6	親は先になくなるのが自然の流れです。その後生活する場、また、そこで生活する練習をする場所を充実させて下さい。自宅での生活を卒業して、グループホームでの生活を希望する人は多くな
7	親が元気な間は何とかやっていますが、親が心身共に衰えてきたり、死亡した後のことが最も懸念することです。
8	親なき後、親戚依存でなく、終末まで、生活できますか？
9	親なきあとは良く解からない。
10	親の死後や自分が年老いた時に市としてのバックアップが無いと、とても不安で症状も安定しないので、一般の仕事で働くのが難しい今、今後なんらかの支援体制が欲しいです。
11	「親なきあと」の支援体制も、重点施策2・3も、不十分であるため、支援体制をどのように整備しているのか、障害の違いによる支援体制の整備も必要であること、各障害の当事者や家族、また支援者等にも、具体的なことを聞き取り調査することが必要と考える。
12	重度の障害の人の親亡きあと、自立生活の支援（グループホーム等）まだまだ不足で、不安がいっぱいです。
13	親亡きあとのためにグループホームを多く作ってほしい。
14	一番お願いしたいのは、親亡きあとの支援体制です。
15	「親なきあと」の支援が一番の思うところです。居住地域の近くにさらに、グループホーム等々充実して頂くことを願うばかりです。
16	親の高齢で後に残る子どもの施設不足が心配です。親が亡くなっても入所出来ない方が大分いらっしゃるそうです。早めのご支援をお願いします。
17	親なきあとの整備が整っていないため、GHに入りたくても入れない方がいるので、早めに対応してほしい。
18	親が亡くなった後、施設に入り面倒をみて頂けるのか死ぬに死に切れない。不安のまま死んで行くのかと思うと…。
19	親なきあとの支援体制について。市も限られた予算の中で、障害福祉対策にも努力されていると思うが、グループホームの充実、短期入所の増床には一層の充実化を期待したい。更には生涯にわたる入所施設が根本的に不足しているように思われ、待機する人が増加していくのは明らかであり、本施設の増設への施策も講じてほしい。
20	親なきあとの障害者施設、鎌倉市には是非お願いしたいと思います。遠い所は面会に行くことが出来なくなります。立派な建物は望みません。誰でも希望する人が入所出来る施設、障害の子どもが生まれた時からずっと頭から離れず生きてきました。現在、夫婦で体調が思わしくなく、日々施設入所のことばかり、考えて過ごしています。安心して死ねますように、是非、是非、入所施設をお願いしたいと思います。
21	親が一番（子どもも）心配していることは、子どもが一人になってしまった場合のことであると思う。安心して毎日を暮らせることが一番の願いである、集団生活をするようになるので、人との関わり方、毎日の衣食、生活の仕方等をわかりやすく教えて、優しく接して下さることを願っており、この点を充実させてほしい。その点ハード面・ソフト面において、十分に検討して施設・人的配分の実施を望んでいる。よろしくお願いします。
22	同居ではないのですが、孫が重度の知的障害のある自閉症です。世の中には障害のある方がたくさんいるのに障害者＝自閉症しか今の自分には頭に無く、身勝手なのは承知しています。自分がなくなった後のことや娘がなくなったら（現在シングルマザーなので）自閉症の孫が一人残ります。そのことがとても心配です。今、高校2年生ですが、こどわりがとても強く、1つ直っても又、次のこどわりがあり、ずっと続いているこどわりや多動もあります。そのため、一人での外出が出来ず、必ず付き添いが必要です。
23	親亡き後も自立して暮らすために相談をするところをもっとあってよい。
24	「親なきあと」自立して暮らしている場所は現状ないため。
25	「親なきあと」の支援体制の整備がどういう形であるのか知りたい。

## ・成年後見について

1	「成年後見人制度」は一度決定したら悪質でも後見人をやめさせられない等の問題が多発している。そうした欠陥が是正されるまで市は普及PRしないでほしい。
2	成年後見制度は充実とはいえない。生活の見守りのみでなく、監督、生活細部（金銭のやりとり、安全、保健）にわたる質と援助。
3	複数の障害者を成年後見制度に基づく法人後見で支援していますが、後見開始後も様々な問題で後見人として対応に苦慮する場面が出てきます。引き続き後見開始後も行政のサポートを期待しま
4	後見人制度は人選びなど難しいものがあるので、市としてもっと勉強会など開いてほしい。
5	親亡きあとの成年後見制度についてはまだまだ不安があります。いっそうの充実と普及が図れるように、一段の整った体制作りをお願いします。

6	親亡きあとの心配が全てです。成年後見を成りますか、考えていますかと支援の方に必ずきかれませんが、成立のころから見守っていますが最近ますます不安です。親は努力して子どものためにお金を残しますが、あっという間に使われたり、その親も後見人に弁護士に依頼するよう言われたこともあります。この県では有名なこの分野の弁護士ですが、その不勉強で3人で3万×3の9万になる考えでした。子が入っている施設・市・その他の方を入れ、組織を早く立ち上げてください。
7	成年後見制度の負担費用の軽減や具体的にしっかりとサポートしてくれるのかのサポート範囲を具体化してほしい。
8	成年後見制度というけれど、色々と事件が起きていることもあり、信用して頼めるかという事が問題です。個人に頼むのではなく、銀行（信託など）とか施設とか、事業所とかちゃんとチェックして不正がおきないシステムが作れないのでしょうか。

### ・その他

1	本人の意思が尊重されていないこともある。家族都合もある。
2	知らないから、お金がかかりそうだから、ということで、何も準備のないまま、親が高齢化しているケースがよく見られます。

## 重点施策5 働く場の充実と就労支援体制の推進

### ・働く場について

1	就職＝社会復帰できるように助けてほしい。
2	障害者が安心して働ける場所を増やして欲しい。
3	軽度の知的障害や身体障害・発達障害の方が生きがいを持って就労できる場がもっとあったらよいと思います。オートメーション化でライン仕事などどんどん少なくなっている現状で厳しいかと思うのですが、手仕事の良さを生かし収入面も安定できればいいなと思います。
4	精神障害者に対して、理解のある職場が増えると良いのではないかと思います。
5	ファンケルスマイルに入社したい。
6	給料が上がるようにしたい。
7	お菓子の箱折りとか、袋詰めだとか自分の合った仕事がかどこかにあれば良いと思います。
8	働く場所の環境や設備等に支援を…。
9	とらいむや道工房など、障害者の支援がほぼ充実していると思う。もっと働ける場を提供してもいいと思う。
10	自分が50代になって、事業所の仕事をもらいにいくなつてから、なにか働けるところを考えてもあまり見つからない。障害もあるので言い出しにくい。
11	働く場が少ない。
12	いろんな所で働けるとよい。
13	例年、養護学校を卒業した子供達の就職先が少ない。就職場所が決まらない。



14	はたらきばしょもほしい！！
15	働く場所、機会の開拓が必要。
16	障害者が働ける場所が、少ないです。
17	障害者が働ける場所、少ないです。選べません。毎年、養護学校を卒業する人はいるのに働く場所は、できません。
18	障害者雇用受け入れ企業、求人が少ないと感じる。
19	実際に息子の友人のお母様が、息子さんの働く場所探しを通じて、あまりにないとのことで、ご自分で働く場所を立ち上げ方がいるのでそう感じました。
20	就労しながら事業所も通いたい。就労を増やしてほしいです。
21	特に、重点施策5の働く場の充実が進むと良いと思います。
22	一般就労の推進は、病院から社会への動きの中で制度とフィットしない人がますます増える方向にあると考えます。
23	就労場所が無さすぎる。

### ・就労支援について

1	欲を言えば、就労に対する支援も、充実させてほしい。
2	職業訓練学校を作ってほしい。
3	数年前より、日中を事業所での利用者について、自力で行く人には交通費の支援はあります。送迎を親が車、バス、タクシーで、事業所または事業所からの車の送迎拠点まで、送迎をしてる利用者への支援がありません。交通費として、何か支援を考えて下さい。
4	就労支援に力を入れてください。
5	就労支援を充実してほしい。
6	重点施策5について、就労支援センターは整備だけではなく働きたいがどのような所に相談すれば良いのか？わからない方もいると思うので、もっと周知の必要があると思います。事業を縮小・廃止・見直しと今後の方向性としているのは、いかがなものかと思ってしまいました。
7	鎌倉市には丈夫なA型がある。精神の施設があり、且つ就労支援のサポートをしている。他にレザミ、カフェレンズ、ジャックと豆の木など、精神の人の働く場がある。職安（藤沢）も、障害者就労のための応援を良くやっている。藤沢で、合同面接会も開催している（他に、横浜、相模原）。石川町の障害者就労相談センターも充実している。
8	通う方法が限られている。駅までの送迎が無いと不便。
9	就労継続支援事業所など就労支援体制が充実していて利用させてもらっている。
10	現場で障害者を支援する方と障害者の声を汲み取り、働きやすく活動しやすい現場を作って頂きたいです。
11	働きたい障害者が専門的な相談や支援を受けられる事業所をもっと充実してほしい。具体的には、就労支援センターの創設が必要。
12	就労支援センターを作ってほしい。
13	鎌倉市の障害者で就労している人が相談する機関は横須賀障害者就労援助センターになりますが、アクセスが不便で十分な支援体制がとれてるとは感じません。鎌倉市単独での就労支援センターが必要と思われます。
14	ハローワークエリア（藤沢）や就業生活支援センター（横須賀）と鎌倉市の位置関係と、サービス利用希望者のニーズ量、ケース課題のハード化等、バランスが不都合のように思います。財源の振り分け方を見直し、「就労支援センター」のような、総合包括的な機関が必要に思います。
15	障害者に就労は重要であるが、まだまだ実際に働くことは難しい状況なので、今後よりよい支援体制を推進して欲しいです。
16	就労継続支援A、B共に職種（活動内容）の数やバリエーションをふやしてほしい。同じく、障害者雇用の職種もかなりかたよりのがあるので、もっといろんなものがふえてほしい。
17	就労支援については、まずできる仕事からとりくむものそれぞれの障がい者の方の夢に沿った施策も考えてほしい。
18	自身が就労支援サービスを利用している為、他の市に比べ地域で生活していく支援は充実していると思う。しかし、今の事業所で長く働くにはやや不安もあり、障がい者が長く親亡きあとも一人で自立生活していく体制がもっといろいろと選択肢があれば良いと思う。就労サービス、事業所の工賃UP、一般就労への移行など望みがふくらめば、障がい者自身の働く意欲にもつながります。

### ・その他

1	ラスクの仕事がしたい。
2	コミュニケーションが、なかなかとりずらく、知らない人とのかわりに時間がかかり、就労が難しいのです。
3	重点施策5は有難く感じます。
4	湘南鎌倉若者サポートステーションは、結局、人として見てもらえない。就労サポート面が、あまり整っていない。結果的に横浜・藤沢などに頼りきってしまうので全く意味がない。
5	施策の2・3が、まだ不十分であるため、働く場での当事者の安心や雇用する側の安心にまで、十分、充実しているとは言えない現実がある。
6	地域的に横に手をつないで障害者が家や施設から外に出て、健常者と共に働けると良いと思う。
7	継続支援A型事業所に雇用報奨金は必要ないと思います。
8	A型に雇用報奨金が出るのはおかしい。就労支援センターが市内にいる。働く企業を開拓して欲しい。

9	A型に雇用奨励金はあるのか？企業ではなくA型に必要か。
10	A型に雇用報奨金が出るのはおかしい。

## 設問5 重複する施策に関する回答

1	ヘルパーとして働いていますが、ご利用者さまをみると、就労につながった方も見てきましたし、親御さんを亡くされた方も後見人がつきました。相談と支援、その後のサポートもできているからだと思います。
2	家に閉じこもりがちなので詳しい事はよくわからない。実感がない。障害者福祉計画推進状況報告書を見たが、この内容が本当に行なわれているのか懐疑的である。実生活に根ざしていない気がする。もっと情報の衆知徹底が必要ではないのか。バリアフリーの町づくりが本当になされているのか。必要な情報や総合的なサービスの提供がなされているとは思えない。
3	観光地であるということで、仕事も環境上限られているし、大きな企業もないし、それでは小さな仕事があるかといえはしないはずなのに、市としてその仕事を広げていく試みや、訓練、サポートなど、あらゆる面で消極的であると感じる。「お金がない」と言えば仕方ないことかもしれないが、足りないなら観光税をとることをもっと考えたり、と大きな広い目線を感じられるような政策を進めてほしい。弱者は、なかなか自ら発信できない場合が多く、どうか弱者のことを、もっと知ってほしい。グループホームなどが、なかなか進まないこと、ヘルパーがたりないこと、障害者の施設の職員が足りないこと、根本に何があるのか、もっと考えてほしい。障害者年金で生活できるとは、とても思えない…。ゆくゆくは生活保護でも、むずかしいでしょう？
4	精神のグループホームの事業数を増加し、地域との生活や親がいなくなった後、安心して暮らせる所を増やせるよう、補助や施設数を増やしてほしい。また、日常生活自立支援事業の利用者数が増えるよう、職員体制を整えてほしい。
5	今後、自立して生活するための支援体制が整っていること、グループホームの充実や親なき後の支援が心配事項です。（現在は、まだ利用する状況ではないので）

6	施策1,2,4,5の4つについては具体的な実感が無いからです。(実際は推進しているかもしれないが。)
7	就労している施設での障害者に於いては、成年後見人の方々や相談員の方々がいらっしゃるのでは安心だと思います。(その場にならなければわからないことも多々あるかと思いますが)が、地域の友人や知人の方々など障害者の方や発達障害の方の親御さんたちのお話を伺うととても不安を抱えていらっしゃる方が多いようです。定期的に勉強会とか、グループホームの見学・体験入居等の催しがあったらいいかと思います。実際に親御さんを亡くされ、グループホーム等に入居されている方の体験談や、ケアマネージャーさんなどの体験談が聞けたりしたら参考になるかなと思います。
8	全国的にそうなのかも知れませんが、短期入所も思うように希望が通らなかつたり、グループホームは常にいっぱい入れない。「親亡きあと」が不安でたまらない。長年住んだ静岡でネットワークを作り、息子を預けているが、本当は自分の近くにいてほしい。しかし、また新しい土地でネットワークを作り直さないときっと簡単にはグループホームに入ることはできないだろう、と思うと切ない。実際にグループホームはどこもいっぱいですと言われた。
9	地域での暮らしの推進とはいってもグループホームでの暮らしは難しい障害者も多く、地域の受け入れも住宅地では騒音などの問題で静かに生活できる方でないと難しいと思う。グループホームの数も足りないし、知的に重い障害をもった方たちは地方の大きな施設に行かざるをえない状況がある。それもかなりの順番待ちです。親は安心して先立てません。
10	グループホームでの生活、「親亡きあと」の利用者が、一日の一番ほっとする安らぎは入浴です。4、5人ほどのグループホームの世話人は、ほぼ一人体制。入浴介助を必要とする利用者は、満足した入浴は無理です。また入浴介助が一番世話人の体を酷使します。世話人の体をいたわるためにも、入浴介助は行政の支援を「もっともっとガイドヘルパーの活用：派遣を」。同性の二人体制で、一箇所30分ほど、巡回サービスで各グループホームに週一回程度でも、これが一番望むサービス
11	障害者が安全・安心して暮らせるまち作り、親亡きあとの支援体制の整備として、窓口や地域支援センターでは相談に乗ってくださいますが、しかしながら実際問題として、グループホームの充実(入所施設を考えない以上(国として)、グループホームの数があまりに足りません。地域で暮らすといっても重度の人々には、難しい問題をかかえています。施策から実際に形となりえる重点
12	重点施策がきちんと計画されていることに安心感を持ちましたが、現実には絵に描いた餅のようにも思いました。施策に追いつく様に障害がある我が子が自立した生活をフォローアップして頂けるような整備をお願い致します。障害があっても社会の皆様のお役に立てるようなお仕事が出来ることを願っています。又、グループホームの整備がすすむことをお願いしたいと思います。
13	家族が対応することを前提に組み立てられている。障害者自身が自立できるような計画を立ててほしい。そうすることで、親なき後もおのずと解決してくると思う。
14	重度障害者にとって、ショートステイの施設が少なく、希望の日や期間の長さが思うように取れない。親なきあとの事が、最大の問題ですが、入所施設は県外しかないということでした。鎌倉市も是非、入所施設に力を入れて欲しい。重度障害者には特養ホームの年齢制限を下げただけでいいかと思う。親も年をとるので、早めに入所施設が決められたら大変に安心出来る。
15	障害者のためのグループホームや短期入所等のベッド数を増やしていただき、親なき後の地域での生活の充実をお願いと共に希望しております。
16	地域で自立して生活するといっても、グループホームに入所するとして、収入(障害者年金)では足りず、なかなか入れない。また入所施設も少ないですし、建設する時、開所する時等ご近所から心配だという声が聞かれたりする。親なきあととはもっと大変だと思っています。就労しても弱者から切り捨てられていて、長く就労出来ない状態です。常に何かをしていただくにも、お金が必要で大変です。本当にグループホーム、短期でもいいから施設入所を早急にやっていただきたいものです。親は年齢を重ねるごとに強く感じております。
17	地域での自立、支援、就労、親亡きあとのサポート、より、支援する側のプロを育成して頂きたい。障害者に関わるプロを。(障害者教育(まずは療育から)、生活、就労支援まで)教育や支援を目指している学生や若い方をサポートする、資格取得をサポートするなど…全体のレベルを上げて頂きたいです。できることなら多くの障害者や家族は、就労や社会貢献を望んでいます。それには、幼児期からの関わりが重要でもあります。ひとりひとりの適正や関わりを指導できるプロフェッショナルな人材を是非
18	地域作業所の現実には低い賃金でとても自立して生活できるような状況ではありません。実際は親が生きている限り扶養しなければなりません。親はだんだん年をとり、年金生活となり、金銭面でも保障ができなくなります。国民年金自体もどんどん減らされている現在、生活が先細りの状況です。働く場の充実はもちろんのこと、親なきあとも彼らが安心して暮らし、生きていける場がほしいと思います。「やまゆり園」のような事件の裏には弱者に対する偏見があることも事実です。地域の中で差別を受けることがないよう、親も努力していきますが、行政がきちんとした対応ができることを望みます。
19	働く場も大事だが、生活の充実(安定した生活)にも力を注いでほしい。安全・安心に暮らせるまちづくりも個々のスタイルに応じて対応できるようにお願いしたい。
20	養護学校を卒業したばかりの最重度知的障害を持つ子どももおります。障害児の為の福祉サービスは近年とても充実してきたように思います。一方で成人のほうはなかなか進んでいないように感じております。重度の障害者とその家族が親亡きあとも住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るよう、入所施設や重度障害者にも対応して頂けるグループホームの設置、短期入所施設の増加への動きがより進んでいくよう、切に願っております。また、福祉施設の職員の確保も難しいという話も耳にします。どの職場でもそうですが、子どもたちを支えてくださる施設の職員の方々が過労などになることなく安定して仕事出来る環境となるように願っております。

21	各施策いずれも「充実している」とは、感じたことはない。どれも場あたりの対応がまだ多く、そもそも障害者ご本人や家族が、サービス・支援等を知らない場合が多い。普及活動をもっと行うべきだと思う。
22	どの設問においても「現状このくらいがふつう」と感じるが、「もっとできるはず」又は「もっとできなければ」だれもが一生にわたり、健やかで安心して地域に暮らせるまち”にはならない”と思います。
23	5つの重点施策を見る場面がなかったので、深く考えることを今まで行っていなかった。もっと直接的に見る場面があれば、もっと意識したり出来るのではと思った。

## 設問6

### ・障害者福祉計画について

1	短期評価より長期評価が重要な計画なので5年、10年、30年、その先と活かせ、地域社会になじむ福祉サービスを実現できたらと。
2	全体的にわかりにくい。目標が見えない。
3	市の方でも、いろいろ考えて体制を推進して下さっているのだと思いますが、当事者側からみると少しずれていたり、こんな方面にもう少し…ということが多いです。福祉計画推進委員会に出席して自分の意見を言うのには勇気がいります。福祉担当の委員の方が、各作業所を見学され意見をすい上げて下さる努力をしてもらえると、充実した福祉計画、必要な人に必要な福祉が行き届くようになるのではないのでしょうか。

### ・障害の理解・啓発について

1	周りの理解が、まだ足りない。
2	住民・市民の理解に向けての努力が不足しています。
3	市で行われている説明会等がまず少ない。（勉強の場が少ないので知識をつけられない）ある時、説明会に参加した時、横浜市から来られていた方のお話で、横浜市の福祉が大変充実している事に気が付いた。藤沢市でも、施設等が充実している事を知った。そこで初めて、鎌倉市が充実していないことを知りました。特に施設が充実していませんが、まずすぐ出来るところで。障害についての勉強会や市での相談支援体制で、どんなものがあるとか「親なきあと」がどんなことをしている等、行っている制度等の詳細説明や内容の提示等からすばやくすぐにはじめて欲しい。
4	地域の中で障害者（児）に対する理解が高いとは感じられない。そのために活動の幅が狭くなっているという事実はあるようだ。
5	少しの障害について、セミナーとかで実施してもっと具体的に伝えたりしてほしい。

6	各支援体制について、幅広く啓発されていない。障害者も中でも自閉症などは、多くの場合、複数の発達障害が重なり合っているが、その事について、一般の方々には理解が少ないこと、また、医療従事者であっても「自閉症なので言葉は話せません」と言ってるのに関わらず、言葉での返答を期待する対応であったりするため。障害者に関わる周囲のみ情報が濃く集まってきたりも、1人の人間として、その周りにいる大多数の人々の理解が深くなれば、どのような体制や対策をとっても、生きづらくなってしまおうと思います。なので、小学校くらいから、性教育と同じような観点の元、障害とは何か、こういった種類があり、障害者の人々が取れる行動が「おかしい事をしている」ではなく、「障害の特性によるもの」だという事を教えていく必要があると思います。大人に対しても、希望する人々に対してだけでなく、不特定多数の人々に対して情報を発信し、メディア等を利用して、啓発活動をすすめていく必要があります。そうでなければ、各体制も、よりもっと充実したものになっていくと思います。
7	障がい者差別解消法（平成28年4月1日施行）のポスターを町に広くはって、広めてほしい。
8	鎌倉市に限らず、他の市町村にも言えますけど、もう少しだけでも精神障害（発達障害・アスペルガー等）に対する支援や理解を広めて頂きたいです。
9	障害者への理解が足りない。
10	福祉に対して、情報伝達を早く、隅々まで、スムーズにしてほしい。
11	福祉サービスを利用させて頂き、とてもありがたいと感じています。まだ子どもが小さいのですが、大人になって「自立」を考えると不安だらけです。福祉サービスを受けるにあたり、多くの職員の方と話をする機会もあり、ご理解あることに嬉しくなることもあります。一般の方にも障害福祉は無関係なことでないことを知ってもらえると嬉しいです。
12	障がいがあることをあまり周りに言わないようにアドバイスをもらって、極端に悪いことなのだろうか？と不安になったり、オープンにして楽になりたかったりします。世の中の障害者に対する見方がよくなっていて、障害者手帳をもらうのをためらったり、サポートを受けてはいけないのかと疑心暗鬼になったりします。
13	障がいの有無にかかわらずにだれでも安心してくらしたいけるために地域への本当の理解、いろいろな立場の人たちがいることへの理解、行動の促進。
14	みなが主体的に助け合える心のもち方の教育、人の尊厳を大切にするために配慮がいきとどいたしくみをつくってほしい。

## ・就学に関して

1	高等部の支援学校の設置を市内に作ってほしい。知的は藤沢まで行かなくてはならない状況を早く解決してほしい。
2	障害児の就学についてです。小学校や中学校には支援学級がありますが、設置するだけでなくもっと充実するようにして欲しいです。多くの学校に支援学級があっても、学校によって、各々環境が違いすぎると思います。生徒に対して先生の数が充実しているように思える学校もありますが、重度の生徒さんがいる所は、ほぼ1対1で先生がついていて、他の手がかけられない生徒は放っているようなことがおきています。もっと現場を見て、対応して欲しいと思います。人数だけを見ても意味がありません。それから重度障害児の特別支援学校です。鎌倉市内には鎌倉養護学校があるのに、小、中は知的障害児の受け入れがなく、遠くの藤沢養護学校まで通っています。どうして、市内の養護学校に通えないのでしょうか？朝のラッシュの電車に乗り、それだけでもパニックです。小、中9年間は長すぎます。せめて、スクールバスを市の補助で大船などぐらいまでこられるようになるだけでも違います。
3	まだ子どもが小さいので成長するにつれ、就学など福祉についても学んでいくと思います。
4	小中学校の支援級の全設置を早く完了してほしい。

## ・支援について

1	個人各々のサービスの時間を増やして欲しい。
2	私の地元は全然基盤が出来ていません。自立支援を受けることで内科等の出費が減ると聞きました。それは、うらやましく思います。
3	年金も少ない。
4	障害者からは、もっと自分達の支援を厚くして欲しいとの意見を聞くが、実際は、金銭面、援助面で、かなり充実した支援を受けていると思います。依存せず、出来る事を行っていく姿勢も見せて

5	市で特別に給付金などを支給してほしい。
6	官公庁等は陳情しても予算がない。あればやりますと申されて福祉が遅れていくばかりです。急に親が病気になり、すぐに（急に）保護して頂きたいときはどうすれば良いのでしょうか。
7	医療費の負担がかからないのは病気を持っている自分にとって大変助かっているため今後も続けてほしいです。（受診証の事です。）
8	精神障害者も交通の面でバス・電車e t c安く使えたら嬉しい。
9	補助金と充実と廻りの支援体制。
10	通勤費は1ヶ月単位で扶助して頂きたく思います。
11	精神2級が医療費がタダなのがいい。
12	バス割引がよい。
13	障害者とその家庭について、生活環境は困窮している家族が多く、家族支援者にも注力願いたい。
14	JRも障害者わりのびきが欲しい（精神）
15	三障害の中で精神障害の支援体制が弱い感じがするので、交通の割引など充実してほしいです。

### ・他市町村と比較して

1	横浜市や県下の他の市町村の方が、もっと積極的に取組んでいるように思う。特にホームや施設作り。
2	他市に比べて予算が少ないと思う。
3	地域に差がありそう。
4	横浜市はかなり充実しているように感じられるが、鎌倉市はよく分からない。うちの事業所にも、知的障害者の手帳を欲しくても、その資格を取得できない人がいたり、きちっと検査されていなかったり、財政が良くないから、多くの人達が障害者の資格が取れていないのではないかと思う。
5	地域格差をなくしてほしい。
6	他市町村の障害者福祉政策との比較検討が判らない以上、答えることが出来ない。

### ・アンケートについて

1	毎年アンケート出していますが、あまり変化を感じない。
2	一生懸命協力してアンケート書いたり、障害者達と交流していますが、何にも変わっていない様な気がします。
3	知る機会がないのか、知ろうとする気持ちがないだけだったのか、とにかく知らない事が多く、左記のアンケートに3段階で○をつけるというも途中から無責任に○をつけているのではないかと思ひ、このアンケートの意味がわからなくなりました。
4	アンケートは、封書で手元に届くと良い。
5	アンケート記入筆記具も用意してあるといいですね。
6	今回のアンケートのように直接間接に関わらず障害者を支える家族が思いを伝えることが出来る機会をこれからも作って頂けると嬉しいです。
7	障害者の立場でこのアンケートを見るときとてもわかりにくいです。工夫が必要だと思います。
8	相談事業所は多くなっているようですが、内容が？記録ばかり多くなり形式的（このアンケート自体が！）。用紙代がもったいない！

### ・市役所の対応や体制について

1	いろいろな福祉の仕事が、民間の事業所に委たくされるようになってきました。もちろん福祉課だけでは人手不足ということも分かりますが、いざという時、まず相談したいと思ひ行く場所は、やはり市役所の福祉課だと思うので、個人プラン、個人の相談ごとなど、市が窓口になってもらえると、心強いです。また、福祉関係者のうち、主になるケースワーカーさんや相談員は、10年、20年スパンで福祉課に居てもらえると、とても頼りになり、助かります。
2	広報等に色々な催しが出る事があるが福祉課の主催でありながら、聴覚障害がある者に対して電話番号しか載っていない事が多々あり、かならずFAX番号も載せてほしい。
3	事業所への事務関連の負担の軽減。サービスを提供する側のことも考えサービスを作って欲しい。サービス内容が同一のもので各市町村により申請・請求の方法が異なるのも混乱する。対応する窓口や電話対応をする人はちゃんと知識があり対応出来る人を配置して欲しい。
4	障害者福祉課に専門の相談員を設置いただきたい。（ケースワークをしっかりとってほしい）窓口でのアセスメントをしっかりとった上で機関紹介、ケースワークをして頂きたい（たらい回しになっている）。機関紹介された際は、照会先にケースのつなぎの連絡をいただきたい（ご本人OKのもと・ご本人負担軽減のため）。
5	鎌倉市の障害者福祉課は他の地区に比べ、あまり親切では無いそうです。障害者のパス更新ひとつとってみても何の連絡もくれないのは、このあたりではここだけと言う事です。
6	障害福祉課に専門職を配置して欲しい。今後はさらに多様なニーズの方たちがまず市の窓口相談に行くと思うので。
7	障害福祉に関しては本人または家族や関わりのある人が要望を出しやすいので、その都度その方々からの意見を聞くことが大切だと思います。そして担当の窓口の方々はプロフェッショナルに仕事を考えていくべきだと思います。鎌倉の福祉がよりよい方向に向かうように心からお祈りしています。どうぞよろしくお祈りします。
8	進学や就職についてのカウンセラーとか豊富な知識を持っている人がいるか。
9	以前にくらべて、むしろ後退しているように感じられます。例えば、福祉課のサービスとか障がい者に対する親切な案内、コンサルティング機能等。

10	「仮称 鎌倉市障害を理由とする（中略）職員対応要領案」を一読したが、こんな難しい言葉では意味内容が理解できない。特に第二条（４）の合理的配慮は何回読んで分らなかった。
11	重度障害者が、地域で生きていくために、行政がしっかり支援していただきたい。「共に生きる、かながわ憲章」の具現化に向けて、実際に地域で生活する障害者へ予算をあてていただきたい。
12	障害者福祉施設に障害者を知らず、理解できない役所上位退職者が着任したり、一部政治家に利用される事が怖い。本当に子どもたちのために働いてくださる職員を役所はしっかり守って欲しい。

## ・その他

1	現在74才ですが、20代から現在に至るまで投薬をされておりますが、今では薬がっておりますのでありがたやと思っております。無理せず体調に合せて気ままに過ごさせて頂いております。皆様へ感謝です。いつまで此の世に依存出来るか解りませんが人に迷惑を掛けず生きていきたいと存じます。
2	今の制度利用が年をとってからもずっと出来るように、安心の老後が保障できるように、医療の場、災害時で、本人が意志を伝えることができる、人的システムを。
3	今回のラファエル会の事件をみても施設のトップの人材のでたらめさに驚く。理事の多くが市の元職員が天下りの就任する慣習があるようだが適材適所の考え方を再確立して根本的に見直してほしい。
4	高齢で障害を持っている方への配慮を！！
5	障害厚生年金受給者（会社勤めをしていた人、納税をして、社会貢献してきた人）が、やや扱いが軽いかなど感じることもある。手帳を持っている人を、全部、一緒にされると感じることもあり。
6	発達支援室の窓口カウンターのと真ん中に水そうがあり、窓口のようにみえないので撤去してほしい。
7	財政的に厳しい中、施策的にも限られてきている様に思います。孤立しやすい障害者を如何にして、何らかのグループに参加させ、人間的繋がり保たせてやるか。それが課題です。
8	市外ボランティアが行政と触れる機会がないので、意見が言えない。
9	福祉サービスの拡充や箱物整備といったハード面も大変重要であると思いますが、それを支える人に対する対応策が非常に脆弱だと思います。昨今、クローズアップされている福祉の人材不足は、まさに危機的状況にあります。その最大の原因である離職率の高さ、そのことへの具体的かつ有効な対応がなされているのか、処遇改善一時金など急激な対応ばかりが目につきますが、根本的な部分は置き去りにされてしまっているように思います。福祉に携わるものだけでなく国家として真剣に考えていく必要性を感じます。
10	やまゆりの様な山の中の施設などには入所したくない。
11	福祉をもっと充実してほしい！！
12	職員の研修。大きい集会所。
13	市内で障害者が集まる場所が少ない。大きい場所、小さな場所、両方少ない。
14	障害福祉といっても高齢社会であり、結局は年老いていく自分のためでもあることだと感じます。やりすぎということはないと思うので、色々なサービスを充実させて下さい。
15	サポートブックはまだ他の市では充実してなくて、比較したときに、今まで市内の障害者への支援に取り組みされてきた方々の熱意もあり、存在していると見ています。とても素敵だと感じています。また、関係機関同士での連絡は他の市よりもとても決め細やかだと感じています。地域の人々の人柄もあり、とても住みやすく、目指している視点は素晴らしいと感じます。人材の育成と確保・事業所の理解があれば神奈川県で一番だと考えます。
16	今回、このアンケートを書いて、息子をグループホームや作業所に通わせながら、自分の子どもの周囲しか考えていないことに気付きました。親としては、一人で生活を始めて精神的に成長していく姿に助けて頂く周囲の人に感謝の毎日です。他市の相談員として話を伺いながら、今の私の状況がいかに恵まれているか痛感しています。この思いがすべての親の方に感じてもらえるようになったらいいと思います。このアンケート、当事者の息子と一緒に答えられたら良かったと思います。これをプリントして息子が家に帰省した時、話を聞いておきます。
17	市外のものですが、こうして施設に受け入れて頂けたこと、感謝のみです。これも制度のおかげです。常々、ただ職員の退職を思うと、すべて賃金のうすさゆえが原因だと思います。国として、県として充実した賃金になれば退職率も解消されていくのではと…。まさしく聖職としてのお仕事ぶりです。親でもいっぱいいっぱいのお仕事です。
18	医療機関同士のネットワーク（連携）が弱いように思えます。行政が介入して構築できればありがたいです。
19	インクルーシブ教育ということで、学区制になり、地域の学校で学べる機会を頂いたことは大変嬉しく、ありがたいことと思っています。ですが、現場の先生方（特に支援級の担任）の情熱と責任感にのみ支えられているのだとすれば申し訳ないと思ってしまう。
20	どこまでを障害福祉というのかが、分からないのですが、今、様々な理由で学校に行けない子が多い中小学校のフリースクールが少ないのが気になっています。発達支援級と共に充実できれば素敵だと思っています。そのことを私たちみんなも少しずつ手伝える事があれば皆が力を合わせて、やっていくと良いなと思います。



21	第4期鎌倉市障害福祉サービス計画（案）は2年前も窓口に置いていました。市民から意見を募集しているのに、関心ある人は要望を出したと思います。或いはあきらめているのか……。聞いたふり？して、一向に話題として取り上げていません。老人問題は票になるのでしょうか。今の議員さんは動きませんから、障害者の親が切々と訴えているわけです。どうかご理解のほどよろしくお願い致します。
22	社会は、老人福祉や保育園問題には熱心だが、障害者は、数が少ないので要望が届かなく、後回しにされているのではないか。実際は、障害者を抱えている家族は長い間苦勞しているのである。老人介護や保育園問題は贅沢に思える。
23	障害者に対して、心のある支援体制が推進されているとは考えられない現状である。障害福祉関係者の天下り先として福祉法人がその担当者の名を連ねていることへの疑問は？鎌倉市からの委託事業所の見直しを検討して欲しい。
24	定期券で通勤したい。
25	会議などの施設を優先的にしようにできる様にしてほしい。
26	会議など（オストミー協会の障害向け）の会場が少なすぎる。鎌倉でやりたくてもとれない。
27	大好きなアイドルと会えるようなイベントを開催してほしい。握手をしたり、一緒に写真を撮ったりしたい。
28	温泉施設、旅館などの割引があると助かります。
29	ディズニーランドの入場割引があるとうれしい。
30	車について、若葉マーク的な、「この車には障害者が乗っている」事を示すマークがほしい。全国的なマークが欲しいです。
31	年金の手つづきの書いをかいてもらうにのにもう少しお金がかからなくしてほしい。（もらうのにしばらくびんぼうだった）
32	現金を持ち歩かずに済む電子マネー（パスモ、スイカ）の利用、自動チャージも知的障害にはとても重要な手段です。湘南モノレールの電子マネー化、バスでの自動チャージを早く実現化してください。第三者の金銭管理が容易。
33	やまゆりの様な山の中の施設などには入所したくない。
34	私は高齢です。すでに両親もなく、姉弟も遠くにおりていのみで連絡をとっているのみで、ちなみに、老人ホームに居住しております。周囲と和合し会話を望んでおりますが、中々うまくいきません。音楽鑑賞とか絵を描くとか趣味がありますので、ホームの中でもクラブ活動があり、割と充実しております。時々、身体が段々と弱ってきているので、外出があまり出来ませんが、毎週火曜日には、道工房でお絵描がありますので、なるべく出席しようと努力しております。描いている時は、自分を忘れて楽しんで描いております。スタッフの方、周りの方に感謝です。
35	湘南の皿でお世話になりましたが、キャロットサポート地域センターでお世話になっており、これからはどうするのか分かりません。
36	現在活動されている事業所、又、個人では限りがあると思うので、市役所の仕事として確立してもらえれば、親族は安心できる。
37	市外に在住のためわかりませんが、ラファエル会地域支援室にはお世話になっていて、とてもよく相談に乗っていただいている。
38	社会参加に働く場の充実だけを望んでしまうと我が息子はストレスに感じ、通う事が出来なくなります。例えば、スポーツ、遊び、体操などの場所があれば通えるかも知れませんが、そのためには交通条件が悪いと通えないし…。このままでは自宅でストレスを撒き散らし、荒れてしまいます。何かを見つけたくとも見つけられずです。
39	障害は人それぞれなので、サポートする側もされる側もすごく難しいと思います。おたがいにいい距離感で支えたり、支え合いたいと思っています。
40	となりの人の声があまり聞こえない、プライベートを大切にできる空間で住みたい。
41	好きなお友達と一緒に住めるようになりたい。
42	もっとかわいいお部屋のアパートやホームに住みたい。
43	二人暮らしのホームから一人暮らしのホームで生活したいです。グループホームの友達があそびにきてといいました。私はどうしよう！おしえて下さい。
44	歌が大好きです。カラオケルームがあるグループホームに住みたいです。
45	鎌倉市は、支援する人がたくさんいて、その人達の気持ちに本人や家族が支えられています。施策は、そのあとについてきている感があります。特に、学校卒業後について、毎年何十人もの卒業生の本人に合った、本人の希望する場所がない現状を解決するために、民間の会社や大学、学生など、今までの福祉の概念にとらわれない力を活用するなど、前進させるように力を尽くして下さい。
46	障害者機関として利用している作業所は、かなり気に入っているのですが、市全体として、もう少し気にして頂けると有難いです。基本的には、そんなにひどい不満はありません。
47	時代のようせいとして、まあまあよい福祉だと思うのですが、さらなる待遇をして頂けると有難いです。他の地域よりは充実していると思います。
48	5つの重点施策、すばらしいと思います。問題はどれだけ実施できるかです。鎌倉市は高齢化が進み、財政の厳しさもあり、計画通りには進まないかも知れませんが、少しずつでも充実させていって下さい。
49	同じ市内でも大船地域と鎌倉地域とでは支援体制の充実度が異なるように感じる。
50	鎌倉市の支援体制を具体的に知っている事が少なく身近な支援所からの感想になりました。
51	市外在住のため回答できません。



52	仕事で多少かかわっているつもりでいても、各施設の内容や現状について、わからない事だらけだと実感しています。
53	ボランティアでの支援が全くなく、費用がかかる支援しかなく、それも内容が統一せず、全く充実はしていない。どんな支援があるのか、情報が少なく、入ってもこない。
54	障害者の集まる場所が少ない。他市町村の人も集まる場所がない。
55	もっと選べたら良いなと思う。制度といわれても難しい。どんなものがあるのか、よくわからない。
56	申し訳ありません。私自身が直接利用しているわけではないので、全部2の普通に丸を付けました。重点施策の内容を全部把握理解もしてなく、わかっていない部分が多々あるからです。重点施策がすべてこのように実施していただけたらとても素晴らしいことです。今、孫が利用しているデイサービスの所や孫のことを面接してくださっている方には親切、丁寧に接して頂いていますので、とても感謝しております。
57	当事者活動の育成、バックアップが不足。
58	障害者は常に将来を悲観しています。心に寄りそうケアが必要と思います。
59	鎌倉市自立支援協議会が全くその役割を果たしていない。
60	障害福祉事業所の不正見のがしが多すぎる。
61	支援者とかかわる時間、たとえば、お出かけとか、そんな時間を多くして欲しいと思います。
62	精神障害者またはその家族の方が、どのようにサービスにリーチしたら、よいか分かりやすくなるといい。精神障害者それぞれの特性、困り事に合わせたわかりやすい施策。
63	不正のあった事業所への鎌倉市からの委託事業が行われているのは、血税を払っている鎌倉市民として納得できない。
64	バカにされたり、市役所では「1級で働けない人ですネ」と若い人に言われて辛い。
65	障害者への差別を感じている。差別解消、健常と分けて（比較）言われることが嫌。
66	もうすこし、障害者にたいする思いを考えて下さい。
67	様々な障害の中で本人自身の特有の問題がある場合、施設が充実した体制が出来ても、理解してもらえないこともあり、支援する側の問題（人格や指導力また、資金、時間）等が合意できない場合は難しいことだと思っています。たくさんの人材を養成できると良いと思います。
68	年々、年を重ねてくると体力の減少、気力、経済性の問題などいつも考えてしまいます。健康なうちはなんとか、日常はこなしておりますが、体調が悪いときなど、自分が動けなくなったらどうするのかなど。しかも重度の者の入所施設が皆無となるとどうしたらよいか堂々巡りの日々です。具体的な解決策は個人がどうあがいてもないのです。
69	どうしても生きにくさがあると思うので、幅広いサービスから選択でき、障害がある人も、又、その保護者等も安心感をもって生活できるようになってほしい。
70	必要な人が必要なサービスを受けるには難しいと思う。言うはやすく、行うは難しにならない様をお願いしたい。
71	相談窓口は多々あるが、各重点施策について、推進及び整備が追いついていない。近隣市町村と比較した場合、進捗状況が非常にPoorである。
72	精神障害に関して家族会はあるけれど、当事者は家にこもる人が多く、家族会も親のみで、当事者があつまる場所や家に訪問の医者やケアが、ひとりひとりできていない。そういう場所がほしい。
73	利用者様に合せた生活の支援や相談や情報提供がスピーディーである。
74	色々行っているのかもしれませんが、よく分からない。地域でSNSなどもひんぱんに発信してほしい。
75	色々はまだ知らないことが多く、ネットや本などでもっと教えて欲しい。家にいることが多いと他人に聞きづらいので、色々わかりづらい。